

## 第19回「しずおか市町対抗駅伝のこと」

昨年12月1日に本大会が開催され、結果は一昨年同様8位となりました。しかし結果は同じであっても、内容は全く異なるということはよくあることであります。ずっとご指導いただいた先生によると、今年は昨年の成績は越えられないと本心を明かしてくれました。逆にそれは、今年の選手に対する最高の褒め言葉とも言えると思います。私は半年前6月の決起大会と11月の出陣式にて、かつて高校野球で一世を風靡した四国徳島、池田高校の蔦監督の言葉を紹介しました。それは「鍛錬千日の行、勝負一瞬の行」であります。鍛錬（練習）は千日にも及び長く、つらい、しかしそのような練習を重ねても勝負は運、不運、コンディション等が絡み、残酷にも一瞬で決まってしまう。蔦監督の言いたかったことは、勝ち負けも大切だが、長い鍛錬に耐えてきたということ自体に価値があるんだということだと思っております。彼・彼女らの将来は間違いなく明るい。しかし、全て順風満帆にいくわけではない。時として、打ちひしがれることもあるかもしれない。私はそこで、過去厳しい鍛錬に耐えてきたことを思い出してもらいたいのです。それがきっと支えになり、苦しみを乗り越えられるのではないかと思います。彼・彼女らの今後の人生に、強く温かいエールを送りたいと思います。そして半年間にわたりご指導をいただいた監督・先生・コーチ、関係各位の皆さま、仕事を抱えながら常に駆けつけてくださった方々に、深くお礼を申し上げたいと思います。